



深い泉

幸せな贈り物

自殺

いったいどのように
解決すべきなのでしょうか



芸能人の自殺、安全装置がない 2005 年映画俳優イ・ウンジュがブンダンの自宅で首をつって自殺してからのち、世に背を向けた有名スターだけで 8 人。ほとんど毎年、切ないニュースが続き、2008 年にタレントのアン・ジェファンが死んで発見されたあと 2 年半の間、5 名もが悲劇的に世を去って、自殺に対する警戒心を呼び起こしています。大衆に影響力が大きい芸能人の続く自殺のニュースは、社会的に大きな波紋を呼んでいます。有名人の自殺があったあとから、似た方式で相次いで自殺が起きる現象である「ウエルテル効果」(Werther effect)に対する憂慮までされています。6 月 30 日に亡くなったパク・ヨンハを含めて、歌手ユニ、タレントのチョン・ダビン、チェ・ジンヨンなど、大部分が復帰直前に極端な選択をする悲劇が繰り返されています。成功と人気に対するストレスは極度に高いのですが、芸能人の特性上、現わすことができないという点があるため、人知れずもっと大きい苦しみを受けているのです。歌手シン・ソンウは、自分の Twitter で「太陽の日ざしを見慣れた者は、影地の暗さとさびしさが分からない。このすべてのものを抱かなければならないことがまさに俳優として、有名人として生きること」と言いながらパク・ヨンハの死を哀悼しました(2010 年 7 月 1 日、スポーツソウル)。

最近、俳優パク・ジンヒ氏がヨンセ大学行政大学院修士論文「演技者のストレスとゆううつ、および自殺の考えに関する研究(2009 年)」を通じて正面から芸能人のうつ病問題を扱って注目されています。昨年 5 月 31 日から 6 月 13 日まで、月平均所得 1,000

万ウォン以上の主演級俳優から 100 万ウォン未満の助演または端役の演技者など 260 人の演技者に直接会って行った深層インタビュー方式で作成されたこの論文では、男性演技者より

女性うつ病が激しく(女性 43.8%、男性 35.7%)自殺の危険のあるうつ病が 10 人の中の 1 名ほどにのぼると明らかにしました。演技者の中で 38.9%がうつ病を病んでいて、40%が自殺を考えてみたという問題も提起されています。解答者の中で自殺に対する考えを実際に行動に移したいという質問には、約 30%がそうだと答え、自殺に対する具体的な計画を立ててみた事があると答えた場合は 43.5%であり、実際に行うために薬を集めるとか物品を買うなど準備行動をしたことがあるという場合が 20.8%でした。

社会的保障と老後の対策がなくて、未来に対する不安で生計維持のためのストレスがかなりあると健康相談をする割合が 21.9%にもなり、老後対策相談が 40.8%になると明らかにしました。また、実際に解答者の中で年所得が 3,000 万ウォン以上の者は 16.8%であったのに比べて、500 万ウォン以下が 28.0%で、収入所得の両極化が深刻でしたし、60%は今現在、演技ができなくて、過度なストレスで胃腸病を病んでいる演技者が 12.6%、アルコール中毒も 4.1%もなると明らかにしました。

芸能人自殺日時

- 1990. 2. 4 歌手チャン・ドック(28)
睡眠薬過剰服用で死亡
- 1996. 1. 1 歌手ソ・ジウォン(20)
薬物過剰服用で死亡
- 1. 6 歌手キム・カンソク(32)
自宅で首をつって自殺
- 2005. 2. 22 映画俳優イ・ウンジュ(25)
自宅で首をつって自殺
- 2007. 1. 21 歌手ユニ(26)
自宅で首をつって自殺
- 2. 10 タレントチョン・ダビン(27)
ボーイフレンド家で首をつって自殺
- 2008. 9. 8 タレントアン・ジェファン(36)
住宅街路地車の中で自殺
- 10. 2 タレントチェ・ジンヨン(40)
自宅で首をつって自殺
- 2009. 3. 7 タレントチャン・ジャヨン(29)
自宅で首をつって自殺
- 2010. 3. 29 タレントチェ・ジンヨン(39)
自宅で首をつって自殺
- 6. 30 タレントパク・ヨンハ(33)
自宅で首をつって自殺

演技者の私生活が人々の目にさらされることが増え、精神的な不安を感じて社会忌避現象まで見られるかと思えば、うわさと過度な誹謗反論コメント文は特に深刻な水準だと指摘しました。

一方、専門家たちは芸能人の自殺に対して「芸能人は見かけは派手だが、心をつかちあう友人が意外に少ない」として「近づいてくる人々がビジネスを目的にするとするから、簡単に心を開くことができなくて、自ら孤立する」と明らかにし、「芸能人は他人の喝采と歓呼を必要とする人だと言えるから、喝采が消えたと感じれば、精神的にぜい弱になりやすい」ということで、「それゆえ、酒と麻薬、セックスなどにおぼれたりもする」と指摘しました。そして「パク・ヨンハ氏の場合、不眠症に長く苦しめられていたのに、睡眠剤だけでおさえていたという報道を見た。おそらく、外部の視線のために、積極的な治療をしなかったようだ」と言って「うつ病が病気だという事実を認識して、積極的な治療をすることが最も重要で、積極的に人々に会って、一人でいる時間を減らし、宗教、趣味、運動などで精神的、身体的健康をそなえなければならない」と勧告しました。

自分の人生のアイデンティティーをなくしたまま仮面をかぶった人格で他人には分からない虚無感(むなしさ)とうつ病、不眠症、孤独の中で生きていかなければならない演技者の二重の人生…幸せでなければならぬ人間に、なぜこういう隠れた不幸が続くのでしょうか。

だれも教えない霊的問題とその解答 パスカルは〈パンセ〉で「人間は霊的な存在だ。それで、人の心の中には神様だけが満たせる空間がある」と話しました。魚が水の中に生きなければならないように、人間は神様とともに生きるように創造されました。ところが、サタンの策略にだまされて、神様を離れた人間は、暗やみと混とんとむなしさという運命のくびきを負うようになってしまいました。結局、サタンが引っ張って行く人生の目標は、滅びと死と地獄です(ヨハネの福音書 10:10)。ですから、自殺は解決策でなく、サタンのまた別のだましなのです。世の中は私たちに目に見える人生がすべてだと話しますが、何か埋めることができないむなしさは、私たちに肉体の人生がすべてではないことを語ってくれます。もしかしたら、あなたも今、話すことができないむなしさの中で、葛藤しているのではありませんか。

水を離れた魚が水でない他のどんなところでも満足できないように、神様を離れた人間は、神様との出会い以外には、他のどんなことでも幸せになるは

ずがありません。神様に会う瞬間、あなたのすべての問題は解決されます。それで、神様はあなたを救うために神様ご自身が被造物である人間の姿で来られて、十字架で死んで復活されることによって、人間の敵であるサタンの権威を砕いて、人間のすべての罪と呪いを解決し、神様に会えるように道を開いてくださいました(ヨハネの手紙第一 3:8、マルコの福音書 10:45、ヨハネの福音書 14:6)。この方がまさにキリストであるイエス様です。したがって、だれでもキリストとして来られたイエス様を信じて受け入れれば、直ちに神様の子どもになります。また、あなたは罪と死の原理から、いのちの御霊の原理によって完全に解放されるようになります(ローマ人への手紙 8:2)。そして、聖霊が永遠にあなたの中に居られ、新しい人生に導いて、世の中で与えてくれない真の平安をくださいます(ヨハネの福音書 14:16~17、26~27)。神様がともにおられる神殿になるようにされ、あなたのたましいを最後まで守って、救いの中にある神様の子どもになった祝福と、豊かな恵みを知って味わうようにさせてくださいます(コリント人への手紙第一 2:10~12)。今、現実には困難にあっているように見えても、結局はすべてのことを働かせて益としてくださるようになります(ローマ人への手紙 8:28)。これが本当のあなたの人生の姿でないでしょうか。

今、この時間にあなたはイエス・キリストを受け入れることによって、神様の子どもになって、サタンがもたらすすべての不幸の苦しみから永遠に解放されて、真の幸せの主人公になることができます。真実な心で下の祈りをすれば良いのです。

神様の子どもになる受け入れの祈り

愛の父なる神様、私は罪人です。神様を離れてサタンの支配の下に縛られて、奴隷になりながら生きてきました。しかし、今、この時間、イエス・キリストを私の救い主、私の主人として受け入れます。イエス・キリストが神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ちこわして、すべての罪と呪いと災いから私を解放されたキリストであることを信じます。今、私の中に入ってきて私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。(ヨハネの福音書 10:10)



新しい開始Ⅱ 弟子化

神様のみことばにとらわれた弟子 「愛の神様、私をアフリカにいつ送ってくださるのですか。アフリカの宣教師になって神様に用いられます」アフリカの宣教師になるためにイギリスへ来て勉強をしていたジョージ・ミュラーは、いつもしているように祈りと神様のみことばを見るために聖書を広げました。ところが、特にミュラーの目を捕らえる聖句がありました。「みなしごの父、やめめのさばき人は聖なる住まいにおられる神」（詩篇 68:5）まわりは静かだったのですが、ミュラーの心には大きい渦が起きました。「神様、どうしてこのみことばが私の心をこんなにも揺らすのですか」ミュラーは詩篇 68 篇 5 節のみことばをもう一度読みました。ミュラーは、このみことばが神様が自分に向けてくださる特別なみことばであることを悟りました。ミュラーは自分の人生を変える神様のみことばとして、詩篇 68 篇 5 節をかたく握りました。「そう、どの親が子どもを食べさせてやらないだろうか。神様が孤児のお父さんであるなら、孤児たちの面倒を見る孤児院の総務になるべきだ。神様、孤児の面倒を見る使命をくださったから、これから道も開いてください」ミュラーは、ひざまずいて深い祈りを始めました。幼い時代、ミュラーは刑務所まで出入りするほど悪いことをして、人々からひどくいらまされてきました。しかし、愛の神様は後ろ指をさされるミュラーに尋ねて来られ、救いのみことばをくださって神様の子どもにしてくださいました。救いの感激を味わったミュラーは、自分の思いどおりではなく神様が召されたとおりに、黙々と自分の仕事をしました。彼はイギリスのブリストルに歴史上最大の孤児院を立てて 2 千人の孤児たちを教育して結婚までさせました。彼が一生面倒を見た孤児の数は 15 万人で、人々は彼を孤児の父と呼びました。彼は、みことばを握って一生の答えを受けた祈りの人でした。



弟子は三つの今日を握って弟子化の生活を送る人です 今日、私に与えられる神様のみことば、実際にその祈りの答えを持って、今日、私の生活のスケジュールを通した伝道の中でキリストの証人になる時、すべてのことは回復します。この時、すべての重職者に伝道と関係する答えを見つけてあげることができます。そして、教会の中の多くの一般信徒に、この祝福を伝えてあげることができます。もっと重要なことは、新しい家族にその人に与えられた神様の計画がこんなことだと、みことばで知らせてあげることができるようになります。しかも専門家には、これからどのように伝道しなければならぬかに対する答えを与えることができます。そうすれば、自然に出るのが世界化です。弟子化は神様のみことばを持ってひとりひとりに向けた神様の祝福された計画を見つけて知らせてあげることです。重職者がすなわち、弟子化の主役です。

神様の子ども五つの確信

- 1 救いの確信：イエス・キリストを信じ、受け入れた私は、神様の子どもになって救いを受けました（ローマ 8:15~16、1ヨハネ 5:10~13）
- 2 祈り答えの確信：神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます（ヨハネ 15:7）
- 3 導きの確信：神様は聖霊で私の中におられ、私のすべての人生を治めながら導かれます（ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6）
- 4 赦しの確信：私のすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます（1ヨハネ 1:9、ローマ 3:24）
- 5 勝利の確信：救われた私は、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます（ローマ 8:31~37、1ヨハネ 5:4）

神様の子ども毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

怖い夢から 逃れる道

はじめてその言葉を聞いたときは、子どもの作り話かと思った。しかし、毎週、同じことを言う子どもの言葉は、事実であるようだった。目がきれいで澄んでいるその子は、私たちが住むアパートによく遊びに来たが、妻が連れてきてみことばの学びをしていた。ある日、妻がもしかしてという気持ちで「あなたは、怖い夢を見るの？」と聞いたところ、とても堂々と「うん。私は毎日、怖い夢を見るの」と言ったそうだ。夢の内容は現実離れしていた。寝るとすぐ、母親が白い包帯で自分のからだをぐるぐる巻いて、包丁で自分の身をめちやくちやに突くというのだった。そうしたら、その切られた包帯が蛇になって、自分の身にかみつくという映画みたいな薄気味悪い話なのに、夢のことを質問した後には、毎週、同じ話をした。

この子は、結局、福音を詳しく聞いて、怖い夢から逃れることができた。それ以上、そのような怖い夢を見なくなったし、それからは、母親が自分を殺さないから、自分も母親を殺さないと言った。夢をいやされることができなかつたら、多分、今もその子どもは母親を殺そうと思っているのだと考えたら、目まいがする。

人々は意識の中でからだを動かして、勤勉に生きて、一日の中で必ず眠って意識を休ませるようにする。このとき、人々はたびたび夢を見るようになるのだが、ある時は悪夢にうなされたり、また、ある時はとても楽しい夢を見たりする。夢は意識を脱した潜在意識の作用だ。眠るということは、脳で見ることに聞くことを中断する、簡単に言えば、目と耳を閉じる行動だ。人は普通、目で見て判断して行動する時に作用する意識、眠りはじめれば自ら分から

ない無意識、また意識の中の過去の経験、心の思いや恐怖が入っている潜在意識を持っている。

夢は脳の作用であるが、私たちが眠っている間も脳は動いている。無意識状態で、目と耳を閉じてみたら、覚めている所は脳しかない。この時、脳の考えが夢で現われて、潜在意識が動いて見るようになる夢は、事実ではないかもしれない。また、想像したことと混ぜ合わせることもあり、そうでなければ、はじめから夢を見ないかもしれない。また、脳の一部だけ動いているので、夢から覚めれば眠りから覚める場合が大部分で、眠りから覚めれば目と耳の一部が作動して意識が動くから、夢を忘れたりする。ところが、自分と他人に影響を与える恐ろしい夢をよく見るようになれば、個人の生活に影響が出て、苦しみを感じるので問題なのだ。それで、いろいろな夢解釈や夢占いが座を占めて、読経したり、お守りを使う秘法がたくさん出てくるが、すべて正確な答えにならない。

正確に言えば、神様を離れた人の潜在意識の中には原罪の苦しみが繰り返されるのだが、それは神様がそのたましいを呼ぶ、呼びかけのようなものだ。苦しみがなければ悟ることができないから、帰って来なさいと言っておられるのだ。人間の根本問題の中で精神的な状態、すなわち、潜在意識の中に隠しておいた神様のメッセージが夢なので、単純に夢の現象だけでは怖い夢を理解することはできない。人間の問題の根源的な解答であるイエスがキリストであるといういのちの光が潜在意識を照らすようになる時、怖い夢から逃れる根源的な解答を得るようになる。私のアパートのその少女のように。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)



* 相談したい方はこちらまでどうぞ